

平成 17 年度当初予算 施策別概要

3 1 2 治山・治水・海岸保全対策の推進

(主担当部局：県土整備部)

31201	土砂災害対策の推進	(県土整備部)
31202	治山対策の推進	(環境森林部)
31203	洪水防止対策の推進	(県土整備部)
31204	海岸保全対策の推進	(県土整備部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民の生命・財産が

(意図) 洪水や高潮、土砂災害などによる被害から守られている

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年 度	H 1 6 年 度	H 1 7 年 度	H 1 8 年 度
災害による過去 20 年間の平均被害総額(億円)	目 標 値		1 3 9	1 3 7	1 3 4
	実績(見込み)値	1 3 7	1 7 3		

洪水、高潮、土砂災害などの自然災害により生じた資産等の過去 20 年間の平均被害総額、H16 実績(見込み)値は、被害の大きかった台風 21 号、23 号の被害総額(1 月現在)を集計したものです。

< 平成 17 年度に残っている課題 >

平成 16 年度に発生した甚大な土砂災害、山地災害や多くの浸水被害による被災箇所の早期復旧が必要です。また、土砂災害、浸水被害、高潮・高波による被害は、依然として県内各地で頻発し、人的被害も発生していることから、自然災害に対しての県民の不安が高まっており、その予防対策が必要となります。

日頃からの防災意識の啓発に加え、自然災害から自らの身は自らで守るという県民意識を向上させるためには、洪水ハザードマップによる住民への情報提供や土砂災害関連情報を県民と行政が共有するシステムを早期に確立することが課題となっています。また、津波による人的被害を軽減するため、ソフト対策と連携したハード整備の必要があります。

< 平成 17 年度の施策の取組方向 >

土砂災害対策については、平成 16 年度に宮川村や紀伊長島町などで発生した土砂災害の早期復旧及び再度災害防止のための対策に取り組みます。また、県民の安全・安心を確保するため、砂防堰堤や溪流保全工等のハード整備とあわせてソフト対策を進めます。

治山対策については、平成 16 年度に発生した台風などの豪雨により被害を受けた箇所について、砂防事業と調整を図りながら早期復旧に取り組みます。また、安全・安心な生活を確保するため、山地災害の復旧及び予防対策を進めるとともに、森林の整備を一体的・総合的に推進し、森林が有する多面的な機能が発揮できる災害に強い森林づくりを行います。

洪水防止対策については、平成 16 年度に被災を受けた河川災害の早期復旧とともに再度災害防止のための改良復旧を実施します。また、効率的な施設整備により治水安全度の向上を図ります。さらに、近年多発している集中豪雨や災害状況等を踏まえ、中長期的な河川整備戦略の策定に取り組みます。

海岸保全対策については、海岸整備アクションプログラムに基づき、急激な浸食傾向にある海岸をはじめ、保全の必要がある箇所において、重点的な取組を進めます。

土砂災害関連情報を住民と行政が共有するシステムの整備を災害履歴や土砂災害危険箇所が多い地域を重点に進めます。

市町村が作成する洪水ハザードマップの支援のため、浸水想定区域図を作成・提供するなどのソフト対策を実施し、県民の安全・安心の向上に努めます。

津波対策については、津波シミュレーションの結果を踏まえ、住民や海岸利用者が速やかに避難し、被害を最小限に食い止められるよう、防潮扉の自動閉鎖化や避難路整備等ソフト対策に連携した整備を進めます。

< 主な事業 >

災害復旧事業【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

当初予算額： 3,561,967 千円 8,236,811 千円

事業概要：異常天然現象により被災した県が維持管理する公共土木施設の災害復旧事業を実施します。

砂防激甚災害対策特別緊急事業【基本事業名 31201 土砂災害対策の推進】

当初予算額： - 千円 4,000,000 千円

事業概要：土石流等により激甚な災害が発生した一連の地区において、再度災害を防止するため、一定期間内に砂防堰堤等の対策工事を実施します。

(一部重) 国補通常砂防事業【基本事業名：31201 土砂災害対策の推進】

当初予算額： 3,921,000 千円 3,592,000 千円

事業概要：流域における荒廃地域の保全及び土砂災害から下流部に存在する人家、耕地、公共施設等を守ることを目的として砂防堰堤、溪流保全工等の砂防設備の整備を行います。

(新) 治山激甚災害対策特別緊急事業【基本事業名：31202 治山対策の推進】

当初予算額： - 千円 1,255,110 千円

事業概要：台風 2 1 号により激甚な山地災害が発生した宮川村において、再度災害防止のため、3 年間で治山ダム等の対策工事を実施します。

治山事業【基本事業名：31202 治山対策の推進】

当初予算額： 3,931,394 千円 2,154,915 千円

事業概要：山地災害の防止や良質な水の安定供給など県民生活の安全を確保するため、治山施設の整備を進めるとともに、水源地域等の森林の造成・整備を総合的に実施します。

河川災害復旧助成事業【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

当初予算額： - 千円 711,000 千円

事業概要：台風 2 1 号で災害を受けた横輪川、赤羽川において、再度災害防止のため災害復旧費に改良費を加えて一定計画のもとに河川整備を行います。

広域河川改修事業【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

当初予算額： 934,000 千円 1,180,000 千円

事業概要：洪水等による災害を防止するため、自然環境や生態系に配慮した護岸整備や河川堤防の整備を行います。

(一部重) 海岸高潮対策事業【基本事業名：31204 海岸保全対策の推進】

当初予算額： 1,810,000 千円 1,920,000 千円

事業概要：高潮対策として人工リーフや堤防などの整備と、津波対策として防潮扉の自動閉鎖化を実施します。